# SDGs 宣言と重点課題

## SDGs 宣言の考え方

当行では、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）※」の達成に向けた取組みをグループ一体となって推進するため、2019 年 2 月に「群馬銀行グループ SDGs 宣言」を制定・公表しました。

当行グループは、企業理念に「地域社会の発展を常に考え行動すること　これが私たちの事業です」と掲げており、社会・環境課題等の SDGs 達成に向け、事業活動を通じて、主体的な取組みを進めたいと考えています。

SDGs 宣言では、こうした考え方のもとで SDGs17 目標のうち、当行グループの事業内容や営業エリアなどから、特に貢献が可能な 7 目標を中心に重点課題と取組方針を定めています。

SDGs 宣言に基づき、事業活動を通じた社会・環境課題等への取組みを更に強化し、持続可能な社会の実現と経済的価値の創造に努めます。また、地域のお客さまにも広く SDGs の啓蒙・普及を図るとともに、SDGs 達成に貢献するお客さま等を支援することにより、地域全体で持続可能な社会の実現に向けて取組みたいと考えています。

※ SDGs（Sustainable Development Goals）とは
2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のためのアジェンダ 2030」で掲げられた 17 の目標（ゴール）。2030 年までに貧困や飢餓撲滅、ジェンダー平等などの社会的課題や環境問題を解決し、持続可能な社会を実現することをめざしている。

※群馬銀行グループ SDGs 宣言は
こちらよりご覧いただけます。

## SDGs 宣言と中期経営計画

2019 年 4 月にスタートした「2019 年中期経営計画『Innovation 新次元』～価値実現へ向けて～」は、このような SDGs 宣言の考え方をもとに策定しました。当行グループが、中期経営計画の達成に向けて取組むことで、持続可能な地域社会の発展や未来へつづく豊かなくらしを実現し、当行グループの安定した収益と将来にわたる健全性へとつなげていくことをめざしています。（中期経営計画については、20 ～ 35 頁をご参照ください）

| | |
|---|---|
| 企業理念 | 地域社会の発展を常に考え行動すること これが私たちの事業です |
| SDGs 宣言 | 私たちは、地域社会の発展を常に考えた事業活動を通じて SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献し、持続可能な社会の実現と経済的価値の創造に努めてまいります |
| 中期経営計画「Innovation 新次元」【めざす企業像】 | 金融サービスの革新により、お客さまニーズに応え、価値を実現する地域金融グループ |

# 「群馬銀行グループＳＤＧｓ宣言」達成に向けた新たな取組み

ＳＤＧｓ宣言では、当行グループの事業内容や営業エリアから、特に貢献が可能な 7 つの目標を中心に 4 つの重点課題を定め、事業活動を通じた社会・環境課題等への取組みを進めています。ＳＤＧｓ宣言の考え方をもとに策定した中期経営計画における各施策に取組むとともに、課題解決に向けた新たな取組みを進めることで、持続可能な社会の実現と経済的価値の創造に貢献していきたいと考えています。

**群馬銀行グループ SDGs 宣言**
**（GB Sustainability Policy 2030）**

私たちは、地域社会の発展を常に考えた事業活動の推進を通じて、
SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献し、
持続可能な社会の実現と経済的価値の創造に努めてまいります。

＜重点課題＞

1. 地域経済の持続的発展
2. 地球環境の保全と創造
3. 多様な人材の活躍推進
4. パートナーシップの推進

## 「ＳＤＧｓ＆ＥＳＧ統括室」の新設

2020 年 6 月、ＳＤＧｓ達成に向けた取組みをよりステップアップかつ加速させるために、当グループの SDGs への取組みを推進・統括する部署として、総合企画部内に「ＳＤＧｓ＆ＥＳＧ統括室」を新設しました。

今後も、当室を中心に、当行グループ一体となった取組みを着実に進めていきたいと考えています。

## 温室効果ガス排出量の削減目標および紙使用量における削減目標設定

SDGs 宣言の重点課題の一つである、「地球環境の保全と創造」に向けた新たな取組みとして、当行の温室効果ガス排出量の削減目標を設定しました。また、本取組みの一環として紙の使用量における削減目標を設定し、従来より課題認識していた、紙に依存した業務を見直し、デジタル化によるさらなるペーパーレス化をめざしていきます。

**温室効果ガス排出量削減目標**

| | |
|---|---|
| 2025年度 | 2013 年度比 23%以上削減 |
| 2030年度 | 2013 年度比 26%以上削減 |

※排出係数の増減の影響を排除する為、電気の排出係数を 2013 年度の計数にて固定して算出。
※温室効果ガス排出量の算出範囲は、群馬銀行国内拠点におけるスコープ 1、スコープ 2、スコープ 3 の一部

**紙（コピー用紙）の使用量削減目標**

| | |
|---|---|
| 2025年度 | 2013 年度比 30%削減 |
| 2030年度 | 2013 年度比 40%削減 |

## 「TCFD（気候変動関連財務情報開示タスクフォース）」提言への賛同を表明

近年、世界各国で異常気象や大規模な災害等による被害が甚大化するなかで、世界全体で気候変動への対応を進めていく動きが広がっています。また、企業において、気候変動のリスクや機会は、企業の財務情報や戦略にも影響を及ぼすことから、情報開示の充実が求められています。

このようななかで、当行は、2020 年 7 月に TCFD の提言への賛同を表明しました。今後、気候関連リスクおよび機会に関して、TCFD の提言を踏まえた情報開示の充実を図っていきます。

※ TCFD（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）は、2015 年、G 20 の財務大臣・中央銀行総裁からの要請を受け、金融安定理事会（FSB）が設立した民間主導による気候関連財務情報の開示に関するタスクフォース。2017 年、最終報告書を公表し、企業等に対し気候変動関連リスクおよび機会について提言に沿った情報開示を推奨している。